

由利地域保健医療福祉協議会 部会報告について

(1) 地域医療推進部会 : 開催していません

(2) 救急・災害医療検討部会 : 開催していません

(3) 献血推進部会

開催 令和5年5月3日付け由福環一2185にて書面開催(資料別添)

結果 議事内容について、委員の承認を得ました。

【議事内容】

1 令和4年度献血目標について

※令和4年度献血推進計画概要

○令和4年度実施(2月末)

400mL献血者目標数 1,702人

400mL献血者実績数 1,654人(達成率97.2%)

○令和5年度目標

400mL献血者目標数 1,830人(前年度比37人減)

200mL献血者目標数は県全体における目標設定となっているため、
保健所ごとの目標値はない。

献血バス稼働台数 44台(前年度比1台減)

献 血 月 報 (令和3年度 4月~3月累計)

人

	400mL 献血			200mL 献血			成 分 献 血				
	目 標 数	献 血 者 数	達 成 率	目 標 数	献 血 者 数	達 成 率	目 標 数	献 血 者 数	血 漿		達 成 率
										血 小 板	
大 館 保 健 所	2, 445	2, 608	106. 7%	0	72	-	0	0	0	0	-
北 秋 田 保 健 所	815	821	100. 7%	0	14	-	0	0	0	0	-
能 代 保 健 所	1, 589	1, 691	106. 4%	0	18	-	0	0	0	0	-
秋 田 中 央 保 健 所	1, 100	1, 202	109. 3%	0	8	-	0	0	0	0	-
由 利 本 荘 保 健 所	1, 875	2, 010	107. 2%	0	48	-	0	0	0	0	-
大 仙 保 健 所	2, 486	2, 677	107. 7%	0	38	-	0	0	0	0	-
横 手 保 健 所	2, 078	2, 251	108. 3%	0	99	-	0	0	0	0	-
湯 沢 保 健 所	1, 426	1, 670	117. 1%	0	69	-	0	0	0	0	-
秋 田 市 保 健 所	4, 688	4, 175	89. 1%	0	99	-	0	0	0	0	-
小 計	18, 502	19, 105	103. 3%	545	465	85. 3%	0	0	0	0	-
血 液 セ ン タ ー	1, 639	2, 261	137. 9%	20	39	195. 0%	5, 551	6, 025	3, 990	2, 035	108. 5%
中 通 出 張 所	3, 279	3, 509	107. 0%	100	312	312. 0%	8, 259	8, 424	5, 786	2, 638	102. 0%
小 計	4, 918	5, 770	117. 3%	120	351	292. 5%	13, 810	14, 449	9, 776	4, 673	104. 6%
合 計	23, 420	24, 875	106. 2%	665	816	122. 7%	13, 810	14, 449	9, 776	4, 673	104. 6%
昨 年 同 期	24, 567	25, 680	104. 5%	732	931	127. 2%	13, 579	15, 402	10, 897	4, 505	113. 4%

令和3年度献血実績

(献 血 者 数)

由利本荘保健所

市 町 名	200ml 献血者数	400ml		総 献血者数	前年比	申込者	不適数	不適率	配車 (台)	1稼働 人数
		目標数	実績数							
本荘	26	1,109	1,266	1,292	△ 8	1,439	147	10.2%	27	47.9
矢島	1	48	43	44	2	49	5	10.2%	1	44.0
岩城	0	82	104	104	28	118	14	11.9%	2.5	41.6
由利	0	32	43	43	4	47	4	8.5%	1	43.0
大内	0	82	106	106	24	115	9	7.8%	2.5	42.4
東由利	0	82	79	79	△ 9	90	11	12.2%	2	39.5
西目	12	82	32	44	△ 15	57	13	22.8%	1.5	29.3
鳥海	0	32	33	33	△ 7	33	0	0.0%	1	33.0
計	39	1,549	1,706	1,745	19	1,948	203	10.4%	38.5	45.3
に 賀 保	1	204	136	137	△ 59	156	19	12.2%	2.8	48.9
象 潟	7	81	87	94	30	104	10	9.6%	2.3	40.9
金 浦	1	41	81	82	16	89	7	7.9%	2.4	34.2
計	9	326	304	313	△ 13	349	36	10.3%	7.5	41.7
合 計	48	1,875	2,010	2,058	6	2,297	239	10.4%	46	44.7

令和3年度管内高等学校献血実績

学校名	200ml	400ml	献血総数	前年比	申込者	不適
本荘高等学校	0	0	0	0	0	0
由利高等学校	8	1	16	△ 7	10	1
由利工業高等学校	2	4	6	△ 6	7	1
西目高等学校	11	3	21	△ 7	21	7
矢島高等学校	1	5	6	△ 2	9	3
に賀保高等学校	7	2	9	△ 3	14	5
合 計	29	15	44	△ 25	61	17

	献血者数	割 合
事業所	1,178	57.2%
高 校	44	2.1%
他学校	44	2.1%
大学	19	0.9%
街頭・イベント	773	37.6%
計	2,058	100.0%

稼働数:	46		
1稼働人数:	計	200mL	400mL
	44.7	1.0	43.7

献血月報 (令和4年度 4月～2月累計)

(単位:人)

		400mL献血			200mL献血			成分献血				
		目標数	献血者数	達成率	目標数	献血者数	達成率	目標数	献血者数	血漿		達成率
										血小板	血漿	
大館保健所 北秋田保健所 能代保健所 秋田中央保健所 由利本荘保健所 大仙保健所 横手保健所 湯沢保健所 秋田市保健所	2,244	2,248	100.2%	0	96	-	0	0	0	0	0	-
	746	739	99.1%	0	23	-	0	0	0	0	0	-
	1,457	1,459	100.1%	0	31	-	0	0	0	0	0	-
	995	1,020	102.5%	0	8	-	0	0	0	0	0	-
	1,702	1,654	97.2%	0	49	-	0	0	0	0	0	-
	2,240	2,338	104.4%	0	27	-	0	0	0	0	0	-
	1,869	1,961	104.9%	0	85	-	0	0	0	0	0	-
	1,288	1,299	100.9%	0	68	-	0	0	0	0	0	-
	4,192	3,982	95.0%	0	119	-	0	0	0	0	0	-
	小計	16,733	16,700	99.8%	431	506	117.4%	0	0	0	0	0
血液センター	1,729	1,996	115.4%	18	23	127.8%	5,055	5,162	3,438	1,724	102.1%	
中通出張所	2,932	3,360	114.6%	90	169	187.8%	7,004	7,338	4,932	2,406	104.8%	
小計	4,661	5,356	114.9%	108	192	177.8%	12,059	12,500	8,370	4,130	103.7%	
合計	21,394	22,056	103.1%	539	698	129.5%	12,059	12,500	8,370	4,130	103.7%	
昨年同期	21,405	22,677	105.9%	610	778	127.5%	12,641	13,178	8,911	4,267	104.2%	

令和4年度献血実績(令和5年2月末)

(献 血 者 数)

由利本荘保健所

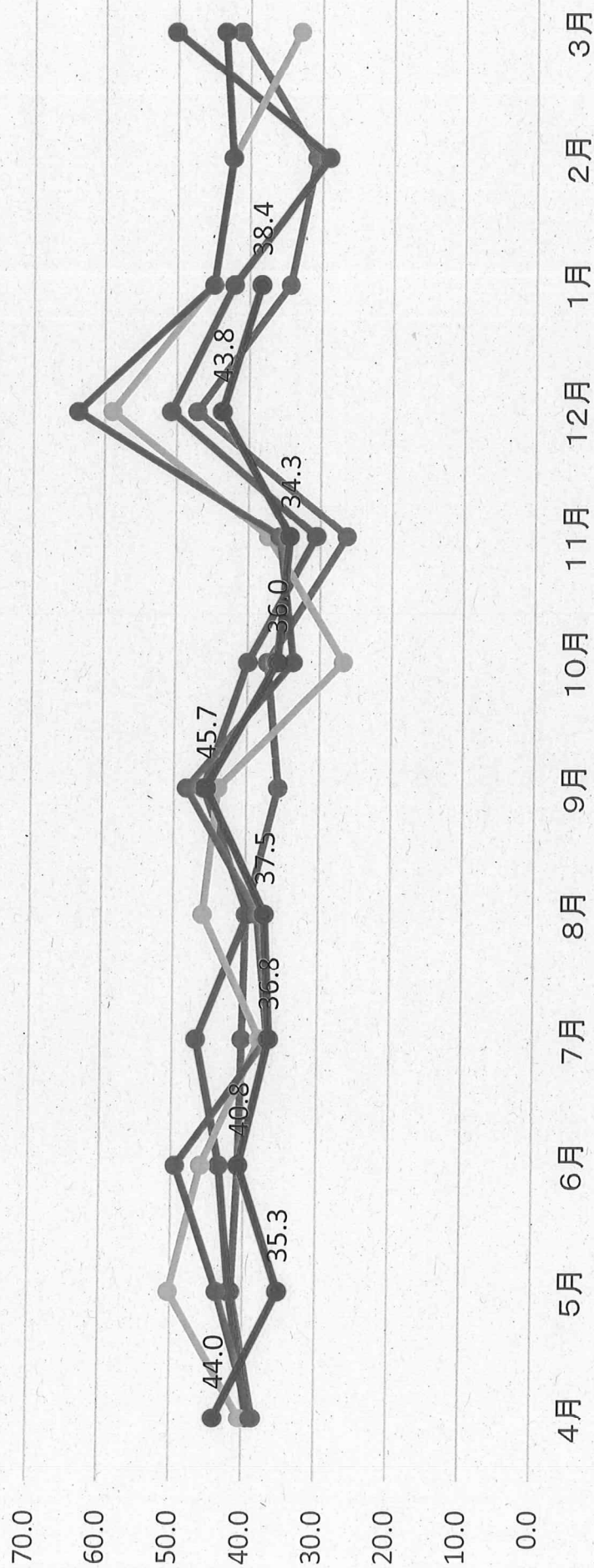
市 町 名	200mL 献血者数	400mL献血			総 献血者数	昨年同期 比	申込者	不適数	配車 (台)	1稼働あたり 人数
		目標数	実績数	達成率						
本荘	35	1,077	972	90.3%	1,007	△ 189	1,112	105	23	43.8
矢島	4	50	25	50.0%	29	△ 15	36	7	1	29.0
岩城	0	84	60	71.4%	60	△ 44	69	9	2	30.0
由利	0	34	38	111.8%	38	△ 5	41	3	1	38.0
大内	0	84	84	100.0%	84	1	92	8	2	42.0
東由利	0	84	69	82.1%	69	△ 10	73	4	2	34.5
西目	3	84	49	58.3%	52	8	57	5	1.5	34.7
鳥海	0	34	36	105.9%	36	3	36	0	1	36.0
計	42	1,531	1,333	87.1%	1,375	△ 251	1,516	141	33.5	41.0
仁賀保	2	168	170	101.2%	172	92	193	21	3.9	44.1
象潟	5	84	82	97.6%	87	△ 7	102	15	2.7	32.2
金浦	0	84	69	82.1%	69	△ 13	72	3	1.9	36.3
計	7	336	321	95.5%	328	72	367	39	8.5	38.6
合 計	49	1,867	1,654	88.6%	1,703	△ 179	1,883	180	42	40.5

稼働数:	42		
1稼働人 数:	計	200mL	400mL
	40.5	1.2	39.4

	献血者数	割 合
事業所	1,046	61.4%
高 校	34	2.0%
大学	41	2.4%
他学校	68	4.0%
イベント・街頭	514	30.2%
計	1,703	100.0%

400mL献血バス1台あたりの人数

● 平成30年度 ● 令和元年度 ● 令和2年度 ● 令和3年度 ● 令和4年度



令和5年度秋田県血液事業推進計画（案）

本計画は、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（昭和31年法律第160号）第10条第5項の規定に基づき令和5年度秋田県献血推進計画として定めるとともに、血液製剤の安全性の確保及び適正使用の推進のために必要な事項を定めるものである。

I 献血推進計画

第1 令和5年度に献血により確保すべき血液の目標量

令和5年度に必要なと見込まれる輸血用血液製剤は、赤血球製剤50,060単位（昨年度比280単位減）、血小板製剤79,390単位（昨年度比7,590単位増）、血漿製剤12,980単位（昨年度比800単位増）である。そこに国から本県に割り当てられる原料血漿確保目標量10,843L（昨年度比849L増）を勘案すると、17,971L（昨年度比1,095L増）の血液を献血により確保する必要がある。

献血目標の内訳

区 分	全血献血		成分献血		合 計	献血量 (L)	献血率
	200mL	400mL	血 漿	血 小 板			
献血者数(人)	683	23,169	7,997	4,046	35,895	17,971	3.7%
構 成 比	1.9%	64.5%	22.3%	11.3%	100.0%	—	—

※献血率＝献血者数／人口（R02 国勢調査結果）

第2 献血の推進に関する基本的な考え方

1 計画的な献血の実施

- ・ 本計画に基づき、保健所は市町村と協議し市町村別献血目標を決定する。
- ・ 保健所、日本赤十字社秋田県支部（以下「日赤県支部」という。）及び秋田県赤十字血液センター（以下「日赤血液センター」という。）は、市町村担当者と連携を密にし、献血協力事業所との日程調整に遺漏の無いよう支援する。

2 献血に関する普及啓発

県、市町村、日赤県支部及び日赤血液センターは、県民に献血や血液製剤に関する理解を深めるよう広報に努める。

第3 具体的な方策

1 効果的な普及啓発、献血者募集等の推進

県、市町村、日赤県支部及び日赤血液センターは、より多くの県民の献血への参加を促進するため、広報活動、各種イベント又は街頭キャンペーン等による献血推進活動を行う。

(1) 広報活動

- ・ 県、市町村及び日赤血液センターは、新興・再興感染症のまん延下であっても、医療に

欠くことのできない有限で貴重なものである血液製剤の安定供給を図るため、血液への理解を促すポスターの掲示や各種広報媒体の活用等により、献血の正しい知識や必要性について効果的な普及啓発に努める。

- ・ 県、市町村及び日赤血液センターは、採血基準について、県民に対して十分に広報を行う。また、血液製剤の中でも特に血漿分画製剤は近年需要が増大しており、その安定供給が確保されるよう、献血への協力を求めるなど献血者の確保に努める。
- ・ 県は、県民に対して血液の働きや医療への使われ方等、命を救う献血の必要性について説明を行い、正しい知識の普及啓発に努める。
- ・ 日赤血液センターは、小学校、中学校、高等学校及び大学等で、児童及び生徒を対象とした「献血セミナー」を実施し、献血の意義を理解し、将来献血を行ってもらうため、効果的な広報に努める。
- ・ 県及び市町村は、若年者層の献血への関心を高めるため、日赤血液センターが実施する「献血セミナー」を、積極的に活用してもらえよう小学校、中学校、高等学校及び大学等に情報提供を行う。
- ・ 日赤血液センターは、「親子で血液センターのお仕事体験」等を実施して、子育て中の20歳代後半から30歳代を中心とした親子が、献血を模擬体験することで、献血に対する理解が深まるよう努める。

(2) 献血推進キャンペーン等の実施

・ 愛の血液助け合い運動

県及び日赤血液センターは、7月に全国一斉に展開される「愛の血液助け合い運動」の期間中、学生献血推進協議会等ボランティアの協力を得て、夏期の血液不足の解消及び献血の推進及び普及啓発に努める。

・ クリスマス献血キャンペーン

日赤血液センターは、学生献血推進協議会及びボランティア団体等が参加するクリスマス期間の献血を街頭で実施し、冬期の血液不足の解消と、若年層を始めとした献血の普及啓発に努める。

・ はたちの献血キャンペーン

県及び日赤血液センターは、1月及び2月に全国的に実施される「はたちの献血」キャンペーンにおいて、成人式を迎える「はたち」の若者を中心に、広く県民各層に献血に関する理解と協力を求め、特に冬期における献血者の確保に努める。

(3) 企業等における献血の推進対策

- ・ 日赤血液センターは、県及び市町村の協力を得て、献血に協賛する企業や団体を募り、その社会貢献活動の一つとして、企業等における献血の推進を促す。また、日赤血液センター等における献血推進活動の展開に際し、地域の実情に即した方法で企業等との連携を図り、企業等における献血の推進を図るための呼びかけを行う。
- ・ 県及び日赤血液センターは、企業等に対して、特に20～30歳代の労働者の献血促進について協力を求める。

(4) 地域献血（参集型事業所献血）の実施

- ・ 県、市町村及び日赤血液センターは、献血に協力する団体等と協力して、献血会場の周

辺の住民に対して積極的に協力を呼びかけ、地域一帯となって献血を推進する「地域献血」を実施する。

(5) 複数回献血者確保の推進

- ・ 日赤血液センターは、県及び市町村の協力を得て、複数回献血者の協力が十分に得られるよう体制を構築し、献血者の安定確保を図る。
- ・ 献血に継続的に協力が得られている複数回献血者の組織化及びサービスの向上を図り、その増加に取り組むとともに、献血の普及啓発活動に協力が得られるよう取り組む。

(6) 全血献血の在り方と高校献血の推進

- ・ 県、市町村及び日赤血液センターは、血液製剤の安全性、製造効率、医療機関の需要の観点から、献血を推進する上では、400ミリリットル献血を基本として行うものとする。
- ・ 県、日赤血液センターは、連携して、高等学校に対して献血への理解と協力を求める。
- ・ 将来の献血基盤の確保という観点から、若年層への献血推進は非常に重要であり、若年層の初回献血時に200ミリリットル献血を推進するなど、出来る限り献血を経験してもらう。

2 献血推進体制

(1) 献血協力団体との連携

県、市町村及び日赤血液センターは、事業所、学校等の施設、商工会、青年会、婦人会、町内会等の地域組織、ライオンズクラブ、赤十字奉仕団及び秋田県学生献血推進協議会等ボランティア組織に献血運動への支援、協力を要請する。

(2) 関連分野との協力

県及び日赤血液センターは、教育機関と連携を図るとともに報道機関にも積極的な協力を呼びかける。

3 献血者への謝意

(1) 県知事表彰及び感謝状

県は、献血推進に功績のあった個人又は団体に知事表彰状若しくは知事感謝状を、献血回数が100回に達した個人に知事感謝状を贈呈する。

(2) 日本赤十字社有功章

日赤血液センターは、献血推進に功績のあった個人又は団体に対し日本赤十字社有功章を贈呈する。

(3) 保健所長感謝状

県保健所は、献血回数が50回に達した個人に対し保健所長感謝状を贈呈する。

(4) 献血ポイント

日赤血液センターは、高等学校在学中に献血ポイントが5ポイントに達した高校生に対し、卒業時に感謝状及び記念品を贈る。

4 献血者の健康増進

日赤血液センターは、献血者が自己の健康管理に活用できるよう生化学的検査及び血球計数検査結果を通知し、献血不適格者には、健康増進に役立つよう健康アドバイス用のリーフレットを配布する。

5 献血者の安全の確保

日赤血液センターは、採血時の検診医師確保のため、医師会等関連団体に医師派遣の要請を行う。

また、新興・再興感染症のまん延下の状況であっても、安心して献血できる環境を保持するとともに、採血の度に、採血の手順や採血後に十分な休憩をとる必要性、気分が悪くなった場合の対処方法等について、事前説明を十分に行い、献血者の感染防止を始めとした安全確保に努める。

II 血液製剤の安全性の確保及び適正使用

第1 血液製剤の安全性の確保及び適正使用に関する基本的な考え方

1 血液製剤の安全性の確保

献血で得られた血液製剤は医薬品であり、その有効性及び安全性を確保するとともに、必要な情報を提供しなければならない。

2 血液製剤の適正使用

医療関係者は、血液製剤が人の血液に由来する有限で貴重なものであること及び原料に由来する感染のリスク等について特段の注意を払う必要があることを十分認識し、患者に真に必要な場合に限って血液製剤を使用するなど、適切かつ適正な使用を一層推進しなければならない。

第2 血液製剤の安全性の確保及び供給

1 日赤血液センターは、献血された血液について抗原・抗体検査及び核酸増幅検査等を実施するとともに、血液製剤の回収等が発生した場合は、血液製剤の病原微生物の感染リスク等に関する情報を的確に医療機関に伝達する。

2 日赤血液センターは、医療機関からの緊急要請時における供給体制の整備等を行い、血液製剤の効率的な供給を図る。

3 県及び日赤血液センターは、大規模地震等の災害発生時の血液製剤の大量かつ緊急供給に対処するため、情報システムの構築、他の都道府県への協力要請連絡体制、搬送システムの整備等について関係機関と協議し対策を講ずる。

第3 血液製剤の適正な使用について

医療関係者は、血液製剤の適正使用に努めるとともに、安全性情報の収集及び患者に対するインフォームドコンセントに努める。

1 血液製剤の適正使用の推進

(1) 血液製剤の使用適正化等に関する資料の配布

県及び日赤血液センターは、血液製剤の使用適正化等に関する資料を医療機関に配布し、その有効活用を促す。

(2) 秋田県合同輸血療法委員会等の開催

県は、「輸血療法の実施に関する指針」に基づき各病院に輸血療法委員会の設置を働きか

けるとともに、医療関係者と協力して秋田県合同輸血療法委員会を開催し、血液製剤の使用適正化及び輸血療法の適正化の推進を図る。

(3) 血液製剤の保管管理等に関する実地指導

県及び秋田市は、「血液製剤保管管理マニュアル」に基づき、血液製剤を取り扱う病院等に対し、立入検査等により血液製剤の保管管理及び取扱いを調査し、必要な指導を行う。

(4) 血液製剤の記録、感染症報告等

医療機関は、特定生物由来製品である血液製剤の使用にあたり、患者への適切な説明、使用記録の作成・保管及び輸血前後の感染検査を適切に実施するとともに、感染が明らかになった場合には速やかに厚生労働大臣に報告しなければならない。

2 各機関の役割

「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」の規定に基づき県、市町村及び日赤血液センターの担うべき役割は、別紙「令和5年度血液事業実施事項」のとおりとする。

令和5年度血液事業実施事項

事項	実施事項及び実施主体		
	県（医務薬事課・保健所）	市 町 村	日 赤
献血推進体制	1 秋田県血液事業推進協議会の開催 2 地域保健医療福祉協議会献血推進部会の開催 3 保健所献血担当者会議の開催 4 市町村献血担当者会議の開催 5 献血者登録制度の推進	1 市町村献血推進協議会の開催 2 事業所等との献血体制の確立 3 献血日程の立案・調整	1 計画的採血体制の確立 2 献血者登録制度の推進
献血組織育成	1 地域、職域組織との連携強化 2 ボランティアとの協力	1 町内会組織への呼びかけ 2 ボランティアとの協力	1 日赤奉仕団、青年赤十字奉仕団への協力要請 2 秋田県学生献血推進協議会の育成 3 ボランティア団体の育成及び献血協力要請
献血の普及啓発活動	1 ポスター・デジタル大型ビジョン等による広報 2 愛の血液助け合い運動 3 はたちの献血キャンペーン 4 県庁出前講座 5 ポスター、パンフレットの作成 6 血液事業の概況（冊子）の作成 7 複数回献血者確保の推進 8 高校教育との連携 9 児童や生徒への普及啓発 10 報道関係を利用したPR 11 地域献血（参集型事業所献血） 12 献血運動推進全国大会 13 若年層に対する献血セミナーの推進	1 広報誌等の活用 2 広報車によるPR 3 ポスター、リーフレットの配布 4 はたちの献血キャンペーン 5 日赤奉仕団、職域組織との連携 6 地域献血（参集型事業所献血） 7 若年層に対する献血セミナーの推進	1 赤十字キッズタウン 2 報道機関を利用した普及啓発 3 各種献血イベント 4 愛の血液助け合い運動 5 献血感謝祭 6 東北学生サマー献血キャンペーン 7 全国学生クリスマス献血キャンペーン 8 はたちの献血キャンペーン 9 事業所献血協力者等の会議 10 献血啓発用チラシの作成 11 地域献血（参集型事業所献血） 12 献血運動推進全国大会 13 若年層に対する献血セミナー 14 Web 会員サービス「ラブラッド」への登録及びアプリ活用の推進
献血依頼	1 市町村、事業所、学校訪問 2 高等学校献血協力等の会議	1 事業所、職域組織、学校訪問	1 街頭献血の実施 2 地域組織の献血推進 3 市町村、事業所、学校訪問
献血者謝意	1 献血推進功労知事表彰・感謝状 2 献血100回者への知事感謝状 3 献血50回者への保健所長感謝状 4 献血者への記念品	1 献血者への記念品	1 健康管理のための検査結果通知等 2 高校生への記念品 3 日本赤十字社有功章の贈呈 4 日本赤十字社献血者顕彰規定による記念品の贈呈
血液製剤適正使用	1 血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針、「血液製剤の使用指針」等の周知 2 秋田県合同輸血療法委員会の開催 3 適正化個別指導 4 医療機関での記録作成、輸血前後の感染症確認を指導		1 秋田県合同輸血療法委員会の開催 2 血液製剤の副作用等に係る情報の伝達収集 3 医療機関での記録作成、輸血前後の感染症確認を情報提供
安全確保・供給	1 大規模地震等の災害発生時における供給体制等の整備		1 血液製剤の感染リスクに関する情報の医療機関への提供 2 供給体制の整備 3 大規模地震等の災害発生時における供給体制等の整備

令和5年度市町村ごとの献血目標

目 標 献 血 者 数			
市町村名	総献血者数	200mL	400mL
由利本荘市	1,496	0	1,496
にかほ市	334	0	334
計	1,830	0	1,830

月 別 献 血 目 標

月	由利本荘市			にかほ市			管 内		
	総献血者数	200mL	400mL	総献血者数	200mL	400mL	総献血者数	200mL	400mL
4月	125	0	125	0	0	0	125	0	125
5月	126	0	126	0	0	0	126	0	126
6月	125	0	125	84	0	84	209	0	209
7月	83	0	83	42	0	42	125	0	125
8月	124	0	124	41	0	41	165	0	165
9月	124	0	124	0	0	0	124	0	124
10月	125	0	125	42	0	42	167	0	167
11月	84	0	84	0	0	0	84	0	84
12月	166	0	166	0	0	0	166	0	166
1月	166	0	166	42	0	42	208	0	208
2月	123	0	123	41	0	41	164	0	164
3月	125	0	125	42	0	42	167	0	167
計	1,496	0	1,496	334	0	334	1,830	0	1,830

	200mL	400mL	合計
本荘	0	1,076	1,076
矢島	0	48	48
岩城	0	82	82
由利	0	36	36
大内	0	100	100
東由利	0	82	82
西目	0	36	36
鳥海	0	36	36
由利本荘市	0	1,496	1,496
仁賀保	0	168	168
象潟	0	84	84
金浦	0	82	82
にかほ市	0	334	334
合 計	0	1,830	1,830

令和5年度献血車運行日程

由利本荘保健所

市	令和5年度献血目標		2023		2024												献血車稼働数	
	200mL	400mL	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	定期	臨時	
由利本荘市				マックスバリュ 4/8(土)	ナイス 5/3(水)	6/1(木)	PM 7/24(月)	8/8(火)	マックスバリュ 9/16(土)	10/5(木)	PM 11/15(水)	クリスマス 12/9(土)	イオンスーパー 1/13(土)	2/2(金)	AM 3/6(水)			
	本荘	0	1,076										PM 1/23(火)	2/16(金)	ナイス 3/20(水)			
	矢島	0	48		PM 5/25(木)					PM 10/18(水)			1/26(金)	2/22(木)	3/26(火)		25.5	
	岩城	0	82				7/4(火)					12/15(金)					2	
	由利	0	36					AM 8/29(火)				AM 1/23(火)			PM 3/6(水)	1		
	大内	0	100						9/12(火)				1/5(金)			2.5		
	東由利	0	82			6/16(金)					12/13(水)					2		
	西目	0	36				AM 7/24(月)				AM 11/15(水)					1		
	鳥海	0	36		AM 5/25(木)					AM 10/18(水)							1	
	計	0	1,496	1,496	125	126	125	83	124	124	125	84	166	166	123	125	36	0
にかほ市						6/6(火)				10/13(金)					ピフレにかほ 3/9(土)			
	仁賀保	0	168			ピフレにかほ 6/17(土)											4	
	象潟	0	84				7/11(火)						1/18(木)				2	
	金浦	0	82					8/4(金)						2/7(水)			2	
	計	0	334	334	0	0	84	42	41	0	42		0	42	41	42	8	
合計	0	1,830	1,830	125	126	209	125	165	124	167	84	166	208	164	167	44	0	
月別目標数			200mL	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
400mL			125	126	209	125	165	124	167	84	166	208	164	167	1,830			
献血車稼働日数				3	3	5	3	4	3	4	2	4	5	4	4	44		

街頭献血

イベント